

●令和元年8月23日開催 第2分科会 学校教育

会場 加古川市民会館大ホール

研究課題 地域とともに育み次世代へ「つなぐ」学校教育  
～子どもたちのためにPTAが担うやくわりとは～

基調講演 藤村 宜之氏（東京大学大学院教育研究科教授）  
これからの時代に必要な力をはぐくむ教育  
～豊かな学びと育ちを支える「協同的探究学習」～

実践発表 岡田 智子氏（加古川市立平岡南小学校 教諭）  
田中 寿幸氏（加古川市立中部中学校 教諭）  
協同的探究学習の取り組み

コーディネーター 松本 裕一氏（特定非営利法人踊りっこまつり振興会理事長  
一般社団法人神話からつながるまちづくり専務理事）

パネリスト 合田 哲雄氏（文部科学省初等中等教育局財政課長）  
富原 恵美氏（加古川市立中部中学校校長）  
寺本 充氏（公益社団法人日本PTA協議会参与）  
瀧川 嘉彦氏（公益社団法人日本PTA全国協議会前理事）

実践発表校保護者 秋下 佳也氏（加古川市立平岡南小学校PTA会長）  
田城 卓也氏（加古川市立中部中学校PTA会長）



報告者：能美市立寺井小学校PTA 南 昭宏

歓迎アトラクションでは、風龍太鼓の勇壮な太鼓の響きと踊りっこまつりによる素晴らしい踊りに魅了されました。

藤村宜之氏による基調講演では、「協同的探究学習」の目的として

① 一人ひとりの「わかる」の育成

【非定形（多様な考えが可能）－探究して（自分で知識や考えをつないで）－わかる】

② 学びと育ちの基盤としての人間関係づくりにある

【聴き合い・認め合いによる、自己肯定感、他社理解、学習感の育成】

との説明があり、主体的・対話的で深い学びを確認できたように思いました。

実践発表では、加古川市におけるパイロット校としての平岡南小学校・中部中学校よりそれぞれの取り組みが発表されました。

パネルディスカッションでは、教員の働き方改革の実現と協同的探究学習のためにかかる時間を確保するために教員でなくてもできることは地域やPTAが、今まで以上の協力をするべきではないかとの意見が提案されていました。将来を担う子どもたちのため、これからの学校教育がどのような設計図を描き、実践していくのか、そして今まで以上にPTAが担う役割が重要になってくるのではないかと思います。